

組合日誌					
12	定例理事会	3	立体駐車場大規模修繕工事開始	8	BCP/BCMリスク対応マネジメント研修
13	組合会館外壁塗装・屋上防水工事完了	7	商団連Webセミナー	9	勤労感謝祭開催に伴う組合会館飲食3店舗テナントとの打合せ
17	団地内汚水管清掃開始(～8月)	9	社長会定例会	14	営業力レベルアップセミナー
19	新規開拓営業力向上セミナー	9	大村県議・黒川市議と新型コロナの行政支援策等に関する意見交換会	14	三役三委員長会議
22	アルテックと立体駐車場大規模修繕工事の件打合せ	11	横浜MDC会	14	社長会定例会
22	MDCアウトレットセール	15	横浜市建築設計(協)と建物簡易診断の件打合せ	19	定例理事会
28	定例理事会	16	営業力レベルアップセミナー	19	国、県、市に対する要望書への回答の件で横浜市経済局来所
28	社長会総会	18	県中央会、組合BCP等の件インタビュー	21	団地内統一清掃
28	(会員より委任状提出の上開催)	23	立体駐車場法定設備点検	26	BCP/BCMリスク対応マネジメント研修
28	通常総会	24	組合会館停電に伴う電気設備点検実施	27	4社連棟建物簡易診断
	(組合員より委任状提出の上開催)	26	MDCアウトレットセール	31	MDCアウトレットセール
		28	商団連Webセミナー		
		29	国、県、市に対し、台風15号被災及び新型コロナにおける緊急特別融資の利子補給期間の延長等に関する要望書提出		

表1 不具合に対する対策について

不具合状態	対策など
1 配管内の尿石固着	尿石剝離機による除去が必要
2 横引き管の勾配不良(水の滞留を含む)	横引き管の交換等が必要
3 樹(マンホール)の閉塞(鏽等で開閉不可)	詰まりの原因とはならないが、交換がベター。交換の際は、既存の樹を壊して新設する
4 樹(マンホール)の破損・紛失	静観(適宜判断)
5 樹(マンホール)内の汚泥やガラの滞留	バキューム車で対応が必要
6 配管内への木(植栽)の根の侵入	ドリル等による一時除去が必要
7 配管インバート破損	破損部の修繕が必要

※汚水管が詰まるリスク大 → 1、2、5、6、7

前号でもお知らせしたMDC団地内企業の汚水管一斉清掃作業並びにカメラ調査が6～7月で終了しました。その結果について以下報告します。実施した72社中68社(94%)から不具合箇所が見つかりました。このうち、修繕の必要ある企業は43社です。状態別では配管内の尿石固着(33社)による除去が必要、横引き管の勾配不良(27社)、下水の滞留含むガラの滞留(14社)、配管インバート破損(8社)、配管内への木の根の侵入(7社)、樹(マンホール)の破損・紛失(3社)、以上が不具合の内訳です。なお、インバートとは、樹内の底の排水通り道(コンクリート)のことで、その破損部に汚物等が堆積し、詰まりの原因となっています。

今回の清掃作業は並行してカメラ調査を実施し、各社への報告書には上記のような不具合箇所の画像を添付し状況確認を行いました。こうした不具合は経年劣化によるものが大半の理由ですが、大型トラック等重量車両が自社駐車場内を出入りする場合は地下配管の不具合も多かったとの業者報告がありました。今後の対策としては別表1のとおりです。剥離除去・修繕・取り換え工事が必要な場合は、水道設備工事業者の見積もり

【申請理由】新型コロナ禍及び新型コロナウイルス終息後に事業者の資金繰り等の負担を軽減し、事業者の復旧活動に傾注できる環境整備を整え、地域の雇用の維持確保を図るため。

一方、コロナ緊急融資に関しては横浜市会議員の紹介で、地元選出の財務副大臣と木村理事長の面談ができたものの、副大臣からはコロナ融資は法律でできているので、新しく法律を作らないと要請には答えられないとの回答でした。

前号でもお知らせしたMDC団地内企業の汚水管一斉清掃作業並びにカメラ調査が6～7月で終了しました。その結果について以下報告します。実施した72社中68社(94%)から不具合箇所が見つかりました。このうち、修繕の必要ある企業は43社です。状態別では配管内の尿石固着(33社)による除去が必要、横引き管の勾配不良(27社)、下水の滞留含むガラの滞留(14社)、配管インバート破損(8社)、配管内への木の根の侵入(7社)、樹(マンホール)の破損・紛失(3社)、以上が不具合の内訳です。なお、インバートとは、樹内の底の排水通り道(コンクリート)のことで、その破損部に汚物等が堆積し、詰まりの原因となっています。

今回の清掃作業は並行してカメラ調査を実施し、各社への報告書には上記のような不具合箇所の画像を添付し状況確認を行いました。こうした不具合は経年劣化によるものが大半の理由ですが、大型トラック等重量車両が自社駐車場内を出入りする場合は地下配管の不具合も多かったとの業者報告がありました。今後の対策としては別表1のとおりです。剥離除去・修繕・取り換え工事が必要な場合は、水道設備工事業者の見積もり

【申請理由】新型コロナ禍及び新型コロナウイルス終息後に事業者の資金繰り等の負担を軽減し、事業者の復旧活動に傾注できる環境整備を整え、地域の雇用の維持確保を図るため。

一方、コロナ緊急融資に関しては横浜市会議員の紹介で、地元選出の財務副大臣と木村理事長の面談ができたものの、副大臣からはコロナ融資は法律でできているので、新しく法律を作らないと要請には答えられないとの回答でした。

これに対し、横浜市経済局からは、返済元金の据置き期間の延長について、4月に「借り換えの特例」を募集しており、これに乗り換えられれば実質的に延長が可能になっている。募集期間が短かったのではあるが、と救済策を行っていることが示されました。また、台風被災に關しての利子補給は市のできる範囲として当初の借入時点で返済終了まで設定されている。国・県がらみの資金は市だけでは限界がある。との返答でした。

団地内汚水管一斉清掃作業実施



インバートが破損した汚水管

ヒューマンリソースセンター(HRC)研修 受講アンケート結果報告

2018年より本格的に開始したHRC研修は、今年で4年目を迎えますが過去3年間を振り返り、実際研修に受講者を派出した企業経営者は、どのように評価され、また今後の研修にどのようなニーズが考えられているのか、についてアンケートを実施しました。その結果は次のとおりです。

評価点は1～4点で好評価の4点として企業の支持を得たのは、Webマーケティング研修、労働安全衛生職長研修、技術経営塾でした。これに続いたのは、営業力レベルアップセミナー、中堅次期リーダー研修、BCPセミナー、職場人間関係構築セミナーでした。また、今後の受講継続意向が多かった研修は、中堅次期リーダー研修、Webマーケティング研修、労働安全衛生職長研修、BCP関連セミナー、コーチングセミナーでした。研修費用や時間では、最多回答は1コース5千円、時間は6時間でした。

この結果に沿ってさらにアンケートのフォロー(ヒアリング)をコーディネートするファンタスティックが行い、新年度の研修プログラムに反映させていく予定です。

横浜中華街発展会のご協力で、コロナ・ワクチン接種に当団地従業員も参加

組合員企業のご紹介により、職域でのコロナ・ワクチン接種を積極的に進めている横浜中華街発展会協同組合(理事長 高橋伸昌氏)から、当団地組合に対し未接種の従業員を対象に参加呼びかけが9月3日にありました。

早速、組合員企業各社に期日指定(9/10、9/12)により申込みを受け付けましたところ、14社から60人の申込みがありました。なかには、外国籍の従業員も見受けられました。コロナ・ワクチン接種は一時期、産業振興センターでの職域対応ができるかどうかを検討されましたが、金銭負担等の問題から話が進まなかったことから個別接種に切り替えた経緯がありました。

お知らせ

MDCアウトレットセール
開催予定(開始は午前10時から)
10月23日(土)
11月27日(土)
12月18日(土)

合同就職面接会

11月18日(木)午前10時
会場:組合会館2階会議室
主催:ハローワーク横浜南

代表者変更のお知らせ

ニッポンロジ株式会社
(令和3年4月1日付け)
新代表者:森山 拓男
旧代表者:吉原 達

株式会社武居商店
(令和3年4月26日付け)
新代表者:武居 順平
旧代表者:武居 正則

ウエイズインポート横浜株式会社
(令和3年6月16日付け)
新代表者:新堂 智康
旧代表者:斉藤 薫

三菱食品株式会社
(令和3年6月28日付け)
新代表者:京谷 裕
旧代表者:森山 透

編集 後記

秋も深まり、世の中選挙モードに入りつつあるが、まずは二年前の台風15号の時にお世話になった菅前総理にお疲れさまと申し上げたい。

投票日が近づくにつれ、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少している。素直に喜ぶべきこと? そうだ、まずはそれでいい。

しかし、ここで付度という言葉が頭をかすめる。安倍政権下で何度も聞きたいやな二文字。どう考えても急激な下降線、おかしうはないか?

衆議院議員選挙を有利に進めるためには、新型コロナからの脱却が必然だ。だとすれば、新政権におもねる格好のネタになる。

もちろん、嘘をついているわけではないだろう。一部分だけ大げさに取り上げる数字のマジックに惑わされているだけにすぎない。理解する側の問題でもある。

緊急事態宣言が終了し、少しずつ正常な生活に戻れるのは正直うれしい。

一杯ひっかけから帰路をたどる「小さな幸せ」を夢見ながら、今日もマスクをつける。
(総務委員長 加藤 武男)

株式会社鈴木

鈴木 隆社長に聞く

—鈴木信晴前理事長のあとを受け社長におなりになりました。どういった関係でしょうか？

鈴木 従兄弟です。信晴の父「治八」(二代目社長)と私の父「隆彦」(三代目社長)は、創業者鈴木音吉(初代社長)の息子たちで兄弟でした。

—兄弟で交互に社長に就かれたのですか。

鈴木 父たちはMDC立ち上げに関わった小林紙工さんに大変親しくしていただき、ご兄弟で経営をされている姿を模範とせよ、とよく説いていました。兄弟仲良く、は父祖の教えです。

—社長ご自身の座右の銘は？

鈴木 大学卒業時に恩師から①大きな目標を持ちなさい。②健康な体を保ちなさい。③常に好奇心を持ちなさい。の3つを贈られ、それを肝に銘じています。

—コロナ禍で事業に影響は？

鈴木 食品業界は大打撃です。当社は食肉卸の鈴音事業部と、レストラン経営の霧笛事業部があるのですが、どちらも売り上げは大幅に落ち込みました。食肉卸では、取引先の飲食店が営業停止・休業・廃業などが相次ぎました。ホテル関係への卸も落ち込みました。霧笛楼も営業日数の削減、夜間営業の自粛など対応を迫られました。

—どう対処されましたか？

鈴木 学校給食が比較的堅調だったので、近隣市への販路拡大という営業に努めました。

また、南部市場の直売店が唯一気を吐いていますので、今後の展開の中心と考えています。

—霧笛楼に関しては？

鈴木 昼間中心の営業にシフトし、テイクアウトも始めました。菓子についても、ラインアップを強化し自家需要を取り込めるよう努めています。



—社内の感染防止対策は？

鈴木 出入口に体温を測るセンサーを設置して従業員の健康管理、手洗い・マスクは徹底して励行しています。食肉を扱う部署ではより細かな検査を実施しています。

—ご自身の趣味は？

鈴木 山登りです。高校時代の友人に誘われて始めました。千メートル以上の山を月一回踏破することを目標にしています。コロナの影響で最近は一歩の山を一人で登るようになってきました。

立体駐車場、大規模修繕工事着実に進む

—昨年の台風15号以来自然災害の一時避難先として再認識された共同立体駐車場(MDCスカイパーキング)。この駐車場も築29年と年数を重ねましたが、今、大規模修繕工事でリニューアルを進め、かつての輝きを取り戻そうとしています。

今回の工事は、「防水強化と浸水によって劣化した躯体の補修」が課題です。各階の天井は鉄骨を保護するためロックウール(岩綿)を巻いていますが、屋上部のシーリングの切れ目などから浸水し、階下のロックウールへしみこみ、接着力が弱くなった一部ロックウールが落下することで場合によっては、駐車中の車に掛かることもあり、問題となると共に浸水



3階南側ブレース

による躯体への悪影響も無視できない状況にありました。

そこで、屋上の立上り部をゴム質の押さえの上にウレタン防水を塗布する方法で防水を強化するとともに、外周部及び屋上立上りの階下のロックウールを削り取り、新しくセラミック系の耐火被覆材によって鉄骨を保護することになりました。

また、筋交い部の鉄骨を巻いたコンクリートのクラックの補修や外部ALC板の大小のクラック(1380カ所)の補修によって「防水強化」を行っています。設備の面では既に部品入れ替え工事が終わっているエレベータ以外では電灯のLED化と電灯盤や自動火災報知器の修繕を行います。

こうして、今年12月までの工期で新しく生まれ変わることになりますが、日常的にご利用いただいている営業車やマイカーの皆様には、もう少しの間ご不便をお掛け致しますのでご協力のほどよろしくお願ひします。

なお、現在工事のために新規の月決め契約はお待ちいただいておりますが、12月に入りましたら、予約受付(ご利用は1月から)を始めますのでご希望の方は、事務局までお問合せください。

新型コロナ禍での行政への要望アンケート状況報告

組合では、昨年に続き新型コロナ禍におかれた組合員の状況並びに国・県・市に対しての様々な要望に関するアンケートを実施し、8月2日に取りまとめました。その結果については次のとおりでした。

- 回答数は、全組合員91社中26社(回収率29%)でした。
- ①新型コロナ禍前と現在の変化(回収率29%)
 - ・変化あり・・・11社
 - ・変化なし・・・15社
- ②行政等への要請
 - ・必要なし・・・11社
 - ・必要あり・・・15社
- ③要請したい内容(優先順回答8件)
 - 各種補助金 (6件)
 - 各種減税 (1件)
 - 第2順位↓各種補助金 (4件)
 - ワクチン接種 (1件)
 - 各種減税 (1件)
 - 第3順位↓借入利子補給 (1件)

以上の集計結果、行政に要請する必要はない(11件)に無回答(65社)を加えた計76社(83%)が行政への要請に消極的な意見が多いことから組合名での国・県・市に対する新型コロナ禍での要請書提出は、当面留保することとなりました。



5月定例理事会報告

- 開催日時 5月12日(水)正午
 - 開催場所 組合会館2階会議室
 - 出席理事 12名(1名欠席)
 - 提出議案
 - 第一号議案 (株)あらたの団地内土地建物売却に伴う当組合出資持分譲渡承認の件
 - 第二号議案 長崎船舶整備(株)の準組合員加入の件
 - 第三号議案 社会保険労務士との顧問契約について
 - 第四号議案 組合会館トイレ(1階、2階)の汚水管パイパス工事実施の件
 - 第五号議案 令和2年度事業報告、収支実績について
 - 第六号議案 令和3年度事業計画(案)、収支予算(案)について
 - 第七号議案 その他総会提出議案
 - 第八号議案 第45回通常総会開催の件
 - 第九号議案 その他報告事項
- (1)総会までのスケジュール、今後のスケジュールの報告

6月定例理事会報告

- 休会
 - 開催日時 7月14日(水)13時40分
 - 開催場所 組合会館2階会議室
 - 出席理事 11名(1名欠席)
 - 提出議案
 - 第一号議案 社長会主催 第8回勤労感謝祭の資金支援の件
 - 第二号議案 台風被災融資、新型コロナウイルス特別融資の利子補給期間の延長並びに返済元金据置き期間延長に関する国県市に対する要請書を提出する件
 - 第三号議案 第一四半期業績報告
 - 第四号議案 転貸融資実行報告
 - 第五号議案 組合会館の給水管の劣化報告
 - 第六号議案 その他報告事項
- (1)代表者変更の件
(2)今後のスケジュールについて

7月定例理事会報告

- 開催日時 7月14日(水)正午
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席会員 22名
- 講師 吉永 房代 氏 (特定社会保険労務士)
- 議題
 - ①ICIT活用ヒント
 - ②卸売業のための補助金活用セミナー
 - ③公益財団法人横浜企業経営支援財団

7月社長会定例会

- 開催日時 7月14日(水)正午
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席会員 22名
- テーマ
 - ①ハラスメント防止対応について
 - ②ICT活用ヒント

勤労感謝祭はコロナ感染防止のため開催中止

令和3年9月17日(金)に予定していた社長会主催勤労感謝祭は、緊急事態宣言の9月末日までの延長や昨今の感染者数増加の状況を鑑み、開催を中止としました。昨年度は、組合会館の駐車場や会議室を使用し、三密を避け、換気を確保しながら実施しましたが、本年度も同様の対策を取りながらの開催を予定していましたが、8日目の開催で初めて中止の措置をとることとなりました。

なお、社長会では来年度の同時期に勤労感謝祭の開催を持越し、会員の皆様と交流できる場を設けたいと考えております。来年度こそは、勤労感謝祭を開催し、会員の皆様と楽しい時間を過ごせるよう、新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。

勤労感謝祭は中止となりましたが、10月以降の社長会事業については、予定どおりの開催を検討しております。10月以降の社長会事業の予定は、次のとおりです。

- ◆10月13日(水) 12時 社長会定例会
- テーマ「モチベーションメカニズムをもとにしたメンタルヘルス」
- 講師・福本 伸夫 氏 (エキスパート・リンク(株))

横浜建築設計協同組合(YSK)、建物簡易診断調査を実施

令和3年7月～8月にかけて、MDC団地内の連棟建物5棟17社及び単独建物2社に対し、当組合の建築顧問である横浜建築設計協同組合(YSK)が、建物簡易診断調査を実施しました。

当診断調査は、団地開設より40年以上が経過する団地内の建物において、建築(構造)の観点、並びに設備の観点から、どのような不具合が発生しているか、また、早急の補修が必要になるのか等をA～Dの4つのランクで評価し、今後の修繕計画の参考資料のひとつとすることを主な目的として実施しました。

40年以上が経過する建物ということで、壁のクラックや屋上の防水、鉄部の発錆などが見受けられ、今後計画的に修繕を実施していく必要があるものと思われます。詳細の報告書は、実施企業各社様に順次送付いたしますので、参照の上、保管いただくようお願い致します。